

(5.6.16)

本日、ここに6月定例府議会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、御多忙の中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

今回提案させていただいております議案につきまして、御説明申し上げます。

第1号議案令和5年度一般会計補正予算につきましては、長引く物価高騰が事業活動や府民生活に深刻な影響を与える中、事業者の経営改善を推進するための施策や府民生活を守るための施策に取り組むほか、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も府民の安心・安全を守るために必要な対策を実施するとともに、子どもたちの笑顔につながる取組みへの支援など、あたたかい京都づくりに向けた施策を推進するため編成したものです。

まず、事業活動や府民生活を守るための施策についてであります。この間、当初予算、さらには4月補正予算においても物価高騰対策を講じてまいりましたが、引き続き、厳しい経営環境にある中小企業等の事業継続や事業再構築を後押しするため、金融・経営一体型支援体制強化事業費の予算額を大幅に増額するとともに、LPガスや特別高圧電力を利用する中小企業等に対し、中長期的なエネルギー対策のための省エネ機器やシステム導入の支援等を新たに実施します。

このほか、LPガスを利用する消費者に対して、販売事業者を通じて、新た

に1契約当たり上限3,000円を支援し、負担の軽減を行います。

また、新たに新型コロナウイルス感染症の外来対応や入院受入を行う医療機関への設備整備支援等に取り組むことで、5類感染症移行後の府民の安心・安全を確保することとしています。

次に、あたたかい京都づくりに向けた施策についてであります。まず、ビル・ゲイツ氏の書籍寄贈の趣旨を踏まえ、府内の高校生等がその思いに触れることで、豊かな感性が育まれる機会を創出できるよう、当該書籍の配布や解説動画の配信、英語によるスピーチ動画の公募等を行うこととしています。また、府立図書館の「電子書籍サービス」を充実させることにより、府内の小・中・高校生が各自のタブレットを活用し、様々な書籍に触れ、自らの探究心を満たす機会を創出します。

加えて、ふるさと納税の返礼品を市町村と連携して提供し、寄附金を市町村に還元する京都版市町村連携型ふるさと納税を実施するほか、道路事業をはじめとする公共事業の予算を増額し、あたたかい京都づくりの実現に向けた施策の財源確保や基盤づくりを着実に進めてまいります。

以上、補正予算案の総額は95億5,100万円であります。

このほか、京都府ふるさと応援寄附基金を設置するための条例制定や地方税法等の一部改正に伴う京都府府税条例及び京都府産業廃棄物税条例の一部改正など、全11件の議案につきまして審議をお願いしております。

御議決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。